

◆離島活性化交付金等事業計画に記載された事業等のうち、令和6年度に実施するもの

| | | |
|-------|------------------|------------------------------|
| 都道府県名 | 対象指定地域数: 1 地域 | 志摩諸島(神島、答志島、菅島、坂手島、間崎島、渡鹿野島) |
| 三重県 | 対象離島数: 6 島 | |

| 対象指定地域 | 対象離島 | 市町村 | 計画期間 | 目標 | 離島振興対策実施地域の活性化に資する事業等で政令で定めるものに関する事項 | | |
|--------|--|---|---------------|--|--------------------------------------|---|---|
| | | | | | 政令で定める事業等(別紙1参照) | 離島振興計画に基づく事業等の内容 | うち、令和6年度に実施する事業等の内容 |
| 志摩諸島 | 神島 答志島 菅島 坂手島 | 鳥羽市 | 5年 (R5～R9) | 三重県離島振興計画に沿った取組を進めることで、離島で暮らすことの魅力を高め、急激な人口流出を抑えるとともに、移住・定住を促進することが特に重要であることから、「離島人口の社会増減率」を目標項目として設定します。 目標値(R12年度) 離島人口の社会増減率 △1.00% | C | 水産物の生産力や価格の向上、就労・生産環境の改善等に取り組み、漁家経営の安定化に努めます。また、水産資源の増殖を図るため、種苗放流や漁場保全などを推進するとともに、漁協、漁業者と協力し、水産物の品質向上や特産品化などの付加価値向上や漁業の多角化に取り組み、新規就業につながる水産業の振興を図ります。また、海洋環境の変化についても注視し情報収集に努めます。また、水産物については、そのまま販売するだけでなく、加工して価値を高めるとともに、島の歴史・文化とのつながりを重視した商品として開発、情報発信を行うことで、観光関連産業の活性化に波及させていくよう努めます。漁港については、島民にとって重要な産業基盤であると同時に、漁村集落の生活拠点、島の玄関口としての機能を有していることから、高齢者や観光客にも配慮した安全で利便性の高い漁港整備を図るとともに、漁港施設の長寿命化を推進します。 | 離島経済の基盤産業である漁業について、各漁業集落の特性を最大限に活かしていくことで、離島漁業の維持・再生につなげていくため、実践的な取組を支援します。 漁村集落の生活・防災拠点としての役割や交通・物流拠点としての役割を併せ持つ漁港について、地域の核となる施設として機能維持に努めます。 |
| | | | | | E | すべての島民がいつでも安心して医療サービスが受けられるよう、常駐医師や島内在住看護師の確保及び医療機器の充実を図るなど医療環境を整備するとともに、研修医の受入等を積極的に行っていきます。また、市内の少ない医療資源を集め、クラウド型電子カルテをはじめICTの活用によるオンライン診療と多職種連携の組み合わせによる複数の離島を複数の医師でカバーする「グループ診療」の実現に向け取り組んでいきます。オンライン診療は感染症対策にも資することから、引き続き実施していきます。答志地区の医療体制を整備するため、答志町内の閉院した医療機関の建物を活用したオンライン室の設置に向け取り組んでいきます。 「救急医療」については、搬送費用の助成の継続や三重県ドクターヘリ並びに三重県防災ヘリの活用、さらには民間業者所有の船舶等との連携やその支援体制の確立・強化を図るなど本土側との格差是正に取り組みます。また、緊急搬送船の配備の検討等を含め、特に夜間、荒天時における持続可能な搬送体制の構築を図ります。 「保健」については、保健指導や健康相談、健康管理への啓発のほか、健康診断や検診などの実施により島民の健康管理と健康づくりに対する正しい理解を深め、健康の保持増進を目指します。 | 複数の離島を複数の医師でカバーするグループ診療と、クラウド型電子カルテをはじめICTの活用によるオンライン診療と多職種連携を組み合わせることによって今後の離島の医療者不足と人口減少に柔軟に対応できる医療提供システムを構築し、島民が人生の最後まで住み慣れた場所で安心して生活することができる鳥羽の離島独自の地域包括ケアシステムの実現を目指します。 すべての島民がいつでも安心して医療サービスが受けられるよう、常駐医師や島内在住看護師の確保及び医療機器の充実を図るなど医療環境を整備するとともに、研修医の受入等を積極的に行っていきます。 |
| | | | | | F | 島内在住の妊婦に対して、妊婦健診にかかる交通費助成を継続していきます。 | 妊婦健診の公費負担をすることで、母子の健康管理や経済的負担の軽減を図ります。 |
| | | | | | G | 「教育」については、海洋教育など地域の特性を活かした創造的な教育活動を展開し、児童生徒の個性を尊重しながら、基礎学力の向上と定着を図ります。また、校舎や屋内運動場の改修、通学路の整備など教育環境の整備充実を図ります。また、離島から本土へ通学する高校生や通学が困難で下宿をしている高校生に対して引き続き支援を行います。 | 教育における経済的負担の軽減を図るとともに子育て支援及び定住促進に資することを目的に、通学費や下宿等の費用の一部を助成します。 |
| H | 「観光」については、その時代に即したマーケティングを行いながら、離島4島の豊かで魅力ある自然や食、歴史・文化、祭、風物詩など、地域固有資源の更なる魅力創出や活用・保全を進めるとともに、離島部の観光基盤の形成や情報発信に努め、観光客の誘致や宿泊産業など観光産業の活性化を図ります。また、これらを支える滞在型体験プログラムの開発やインストラクターやガイドの人材育成、ホスピタリティの向上に努めていきます。離島間や本土との連携強化や情報共有を図り、回遊性のある魅力的な観光地づくりに努めます。 「地域間交流」については、離島の持つ貴重な自然環境や伝統的な集落景観に配慮した道路や遊歩道、休憩施設やトイレなど、さまざまな旅行者が安心して快適な離島旅を楽しんでいただけるよう、滞在環境を高める公共インフラの整備や保全とともに、島民や関係者らの創意を生かした個性的で魅力ある集客交流の取組を進め、交流人口の増加を図ります。 人口減少が続く中で、県内外におけるイベント及びSNS等のオンラインツールを活用し、地域の魅力を積極的に発信することで、地域にはない経験や視点を有している島外の人材との交流を増やし、関係性を深めることで、移住をはじめ、地域行事の維持や新たな取組へ繋げられよう「関係人口」の増加に努めます。各地域で様々な団体が、日々の暮らしの中で、それぞれが理想とする地域づくりのため活動していることから、地域内外を含む人々が交流できるよう、様々な主体の活動を後押ししていきます。 | 離島地域の連携ネットワークの構築や、若年層の意見を反映したツアー造成、地域と観光客を繋ぐガイド育成など受入体制を整備するとともに、情報発信を図ることにより、地域振興を促進します。 ターゲットとしては若年層とし、社会貢献の意識の強い企業や学生等へ向けても、離島合宿やスタディツアーを実施するなど、鳥羽ならではの「島旅」と「学びの旅」を提供し、誘客を図ると共に、学びを通じた離島地域との関係人口の増加を図ります。 答志小中学校に転学を希望する児童・生徒を受入れ、相互の教育効果の向上や地域の活性化を目的として実施する。答志地区の自然環境及び歴史文化等のなかで、豊かな学びと答志における体験活動等を願う方を対象に、答志小・中学校に転学を希望する児童・生徒を受け入れ、相互の教育効果の向上や地域に根ざした教育等の充実、地域の活性化及び当市が推進する移住定住施策の推進を図ります。 | | | | | |

| 対象指定地域 | 対象離島 | 市町村 | 計画期間 | 目標 | 離島振興対策実施地域の活性化に資する事業等で政令で定めるものに関する事項 | | |
|--------|-------------|-----|---------------|---|--------------------------------------|--|--|
| | | | | | 政令で定める事業等 (別紙1参照) | 離島振興計画に基づく事業等の内容 | うち、令和6年度に実施する事業等の内容 |
| 志摩諸島 | 渡鹿野島 間崎島 | 志摩市 | 5年 (R5～R9) | <p>人口減少、高齢化が進行する中、今後も島民が安全安心に暮らせるよう、生活インフラなどの基本的な生活基盤の安定、防災対策の推進、高齢者医療・介護・福祉の確保に努めます。</p> <p>また、島の資源や外部人材を積極的に活用し、観光業や水産業など島の主要産業の振興による島の活性化を図るとともに、伝統文化の継承や、ボランティア活動などに取り組む島民活動を支援し、人々が支え合い、楽しく健やかに暮らせるコミュニティの維持を支援します。</p> <p>さらに、国立公園内の景観保護、海洋環境及び漁場の保全、漂流漂着物の処理など環境保全に努めるとともに、再生可能エネルギーの活用や省エネルギー化の推進に取り組み、環境と調和した地域づくりを進めます。</p> | H | <p>観光の振興 「行政、民間事業者、学校団体等が実施する各種イベントやボランティア活動等について、積極的な離島開催を促し、将来的な関係人口の拡大に努めます。」</p> | <p>結婚を希望する若者の出逢いの場を創出し、地域の定住人口および関係人口拡大を図るとともに、離島の魅力を地域の若者が再発見する機会の創出を図ることを目的としたイベントを開催する。</p> |
| | | | | | | <p>観光の振興 「恵まれた自然環境、真珠養殖に纏わる歴史・文化資源を活かした観光プログラムの構築や、公衆トイレ等の受入環境整備を推進し、行政・民間事業者・地域住民が一体となった持続可能な観光振興を目指します。」</p> | <p>人口減少と高齢化が進行する島内の状況下において、島民が暮らしやすく、また、観光客をはじめ、誰もが訪れ、過ごしやすい生活環境を実現するため、渡船待合所や公衆トイレをはじめとする交流促進のために重要となる施設のバリアフリー化工事等整備に取り組みます。</p> <p>【事業詳細】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老朽化が進み、島内への誘客促進の課題となっている渡鹿野島対岸(本土側)の「渡船待合所兼トイレ」のバリアフリー化等改修工事実施に係る地質調査及び実施設計を行います。 ・老朽化が進み、維持管理が困難となっている、間崎島唯一の公衆トイレである「間崎漁港公園トイレ」の浄化槽等改修に係る実施設計及び改修工事を行います。 |